

私たち民医連は、無差別・平等の医療と福祉の実現をめざす組織です

みやぎピーチャリ 2016

日にち▶2016年11月3日(木)(祝)
場所▶坂総合病院～七ヶ浜周辺コース
時間▶9時～5時(予定)
主催/みやぎピーチャリ2016実行委員会
連絡先/県連・中川
TEL:022-265-2601 FAX:022-263-8266

みやぎ民医連

発行所 宮城県民主医療機関連合会
仙台市青葉区木町通1-8-18
〒980-0801 田村ビル5F
TEL 022-265-2601
FAX 022-263-8266
e-mail:dai@miyagi-min.com
発行人 坂田 匠
1日・15日 月2回発行 1部 50円

災害復興公営住宅訪問行動

訪問行動は地域と民医連をつなぐ機会



訪問行動の指示を聞く参加者(坂)

宮城県民医連では、震災から5年半たち、仮設住宅から災害復興公営住宅へ移転した住民の皆さんが、どのように暮らしているのか、健康状態はどうなのかを訪問して、聞き取り調査行動を行いました。

9月10日11日と二日間に分けて、160名をこえる職員が参加しました。9月10日は、坂、泉、松島に集まり多賀城市桜木、新田、鶴ヶ谷、利府ゆのき、泉中央南、松島美映の丘を回りました。9月11日は長町に集まり塩釜市伊保石、清水沢東、七ヶ浜町松ヶ浜、葛蒲田浜、あすと長町、松島、華園を回りました。

宮沼弘明会長より坂で参加した職員へ地域に出る訪問行動の大切さや励まし、挨拶がありました。

私は、桜木の大型団地のような災害復興公営住宅にいきました。一目見て、まるで迷路。入り組んだ階段やエレベーターで、すぐに迷いそうです。坂の組織課の木伏課長と同行。お会いした70代の男性は、「仮設住宅と比べると、快適だけど、ほとんど外に出ないし、知

医療費免除を望む 住民の声

参加者は、行動の指示をあおいで、タクシーに分乗して割り振られた災害復興公営住宅に向かいました。



挨拶する宮沼会長

り合いもない」と話されました。ご主人と二人暮らしの60代の女性は、「家賃の支払いはやや苦しい、主人に持病があつて、いろいろな病院にかかっていて、大変ですが「住み心地は快適」と話されました。「息子に持病があり、病院は無料にしてもらっているが、薬代が大変(80代男性、奥さんと息子の3人暮らし)」。80代の女性は、「ご主人との2人暮らしですが、孫の子どもを小学校が終わった後面倒をみていて、孫が迎えに来るといふことで、買い物なども頼んでいるそうです。」「交通が不便で、タクシー代がかかるから大変。」「めったに外に出ない。知っている人もいない(80代男性)」。仮設住宅の時はお茶っこ会にも参加していたそうで、ぜひ、公営住宅でもやってほしいと話されました。

不在のお宅には、1階の集合ポストに資料や相談窓口、健康まつりのチラシの入った返信封筒を入れました。

若い方には便利な公営住宅ですが、お年寄り

は、ほとんど外に出ない、知り合いもないという状況。医療費は免除を継続して欲しいと皆さんが望んでいました。

訪問行動に出るのが、初めてという職員もいました。参加した職員は「ストレスを感じていて、誰かに聞いてもらいたかつたと言われて、訪問行動してよかった」「友の会の班会を楽しみにしているといわれ、住民同士の交流に役立っていると感じた」「高齢者の方に交通の便の悪さ、隣近所のゴミユニケーションもないと言われた」「健康な方は少なく、なにかしら持病を抱えていた」「震災から5



桜木の災害復興公営住宅



友の会のことも話題になった(坂)



美瑛の丘訪問



詳しく聞き取り(泉)



長町訪問行動打ち合わせ

年以降経過しても改善されていないことが多いことに気づいた。訪問行動の活動を積み重ねていきたい」「交通事情や、子育てで、受診ができないと話された「実際に行ってみなければ課題は見えてこない。訪問行動は、地域と病院をつなぐ機会になる」と感想をいっていました。

10月から共同組織拡大強化月間も始まりですが、こうした機会もいかして職員が地域に出て地域の声をききとる訪問行動や班会を定期的に行うことが大切だと思います。(記事：田中 千枝)

その後の反響

9月12日以降民医連に、

健康手帳

先日、家族で岩手の志戸平に出かけた。主人と娘、同居している主人の両親、私の5人で1泊の温泉旅行だった。▼普段、家のことをお願いしているのだから、かなおの気が持ち込まれて両親を誘ったのだ。両親は、比較的年齢で自立はしているものの、義父は長い距離を歩くことが出来ず、いわゆる観光とはいかなかった。ホテルと車の中だけという感じだったが、両親とも楽しんでくれたようだった。▼行きは東北道を利用して、帰りは三陸の海沿いを通った。車窓からは、高い防潮堤にさえぎられていた。▼高田市の奇跡の一本松も三陸町の防災庁舎も仕事のじやまをするまいとことさらに小さくなっていくように感じられた。義父がぼつりと言った。「ごもおんなじでどこ走ってかせんぜんわがねえな...」と。▼工事を見る限り、復興に向けて進んでいることは間違いないとは思えたが、大切なものが置き去りにされているようにも感じられたい思いました。

全日本民医連 共同組織全国活動交流集会

民医連と共同組織が力をあわせて

地域の健康と暮らしを守ろう



柳沢深志医師

9月4日から5日、石川県加賀で開かれた第13回全国共同組織活動交流集会は、約2000人が参加しました。歓迎レセプションで県指定無形文化財『御陣乗太鼓』の演奏が披露され、侵略者から村を守る鬼気迫る迫力が会場を圧倒しました。

差別に受けることができず、みんな平等に受けることができるってというのがお父さんたちの病院のモットーなんだ。同じ民医連に加盟している病院の理念なんだ。どうだかっこいいだろ?と、いのちの平等をかかげた医療、患者に寄り添う医療、地域まるごと健康づくりを共同組織とともに進めてきたことなど、子どもにもわかる言葉で伝える大変感動的なお話で

した。民医連の活動に誇りを持ち、次世代にその理念を伝えていくことは、意識的にしていかなければならないことだと思えます。2001年の金沢大会に参加したのをきっかけに、私は「たすけあいの会」を立ち上げました。あれから15年。現在は私をふくめ、ボランティアの高齢化でなかなか依頼を受けられない状態にあります。石川民医連のNPO「たすけ愛」の活動に学ぼうと、今回参加しました。病院と共同組織が一緒に地域の健康と暮らしを守ろうとしてきた石川民医連の「たすけ

愛」の活動は、全県を網羅し多彩な活動を展開しています。来月4月から介護予防・生活支援は自治体の「総合事業」に移行します。介護保険は利用範囲が狭められ、地域で困っている方を支える活動はますます必要になってきます。石川民医連は、独自に地域包括ケアの活動を行っています。宮城県も全体でどうしていくの



真剣に聞く分科会

泉病院 組織部 菅原 三千代

連載 32 私の好きな憲法は何条?

セントラルキッチン 事務 青田 善久

私が好きな憲法は、前文です。日本国民が主権者であることを宣言し、国民主権は人類普遍の原理であり、憲法改正によっても排除できないものと宣言しています。戦争放棄については「政府の行為によってふたたび戦争の惨禍が起ることのないやうに」との決意を表明しています。

久平主義と平和的生存権を規定しています。武力によってではなく、「平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して」日本の安全と生存を保持する決意を記しています。前文全体が第9条の戦争放棄や、第25条の「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」の生存権につながっていると思えます。

自民党改憲草案はどうでしょうか?前文の平和的生存権も9条の戦争放棄も削除され、97条の「基本的人権は、人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果」も削除されています。自民党案では日本国憲法の最も重要な



沿道でアピール

用や社会保障改善による人間的な生存・生活を送ることのできる道か、もしくは社会保障を削り軍拡を進めようとする非人道的な生活を強いる道かの二つの道の選択を迫られる中、憲法を学び生かしていかなければならぬと改めて思いました。



7つのマチガイ [問題]上の絵と下の絵では7つのマチガイがあります!どこでしょう? (作・野上和彦)



クイズの解答は事業所名、氏名、職種を記し原簿事務局に送ってください。メールは不可。ファックスは可。正解者に抽選で5人に図書カードを進呈いたします。余白に日頃考えている事を書き添えて下さい。「声」の欄に掲載させていただきます。応募資格は臨時パート含む県連職員。締切10月31日当日消印有効。発表11月15日号。8月15日号答え「ボウサイン」ツズ・応募総数17件。当選者「吉田輝紀/坂総合病院、中里朋子/長町病院、渡邊一也/坂総合病院、金谷真雄/みやぎ保健企画、北村明子/福祉会本部(敬称略)

STOP! 安保法制廃止・戦争する国づくり反対 9・19市民集会 安保法制廃止のたたかいはこれから

組織担当者の次世代配置を早急に考えてほしいと切に望みます。

昨年1年の安保法制強行採決から1年。「戦争する国づくりは許さない」と9月19日市民集会が開催された雨の中、550人が元鍛冶丁公園に集まりました。

後藤東陽氏は「自衛隊の安全と国民の安全は表裏一体。政治を変えていこう」と話されました。



雨の中で反対集会

リレートークでは、安保法制廃止を求める女性議員・元議員有志の会宮城から「戦争ストップのゲストトークでは、「女の平和」レッドアクションの横湯園子氏が「戦争は殺し殺されるだけではなく、生きて帰った人も戦争ノイローゼにします。戦争は絶対反対、平和を訴えます」と発言。元自衛官の泥憲和氏からは「自衛隊は国を守ると教えられる。私は、国の価値観を守りたい。南スーダンに東北の部隊が行くことになっていますが、国民のほとんどが間違っているという任務です。反対署名を行っての方に聞くと、自衛隊員やその家族までが反対署名をしていくそうです。政府に国民の声を届けさせましょう。自衛隊もオール憲法。憲法9条を守りましょう」と発言がありました。

運動を通じて党派を越えた友情が生まれ、共に地方政治を守っていきま

その後、市内を「戦争から戦争をなくすことを希求した憲法の平和主義を貫くため、国政選挙に反映させよう」と宣言しました。



元気にアピール

声 11

8/15号の健康手帳の地球環境の話、深く考えさせられました。リサイクルという言葉が過信せず、物は大切にしようと思えます。知らなかった情報をありがとうございます。

南光台地域包括支援センター・保健師・芳賀 明子